

メデイすぼ

平成27年度 春号 Vol.5

サ・プロフェッショナル
～ ケアマネジメントの流儀 ～ 特集：業務の効率化 その後

本誌は1年間を通して「業務改善」について特集してきたが、本年度の締めくくりとして～業務効率の追求～というテーマを目的に、4月から導入している～サーフェス～の利用のその後について検証した。

今回の取材方法として、一定個人を対象とせず、アンケート方式で各事業所単位で取材を行い、その回答内容についてまとめてみた。

尚、取材した回答内容については複数回答も含め集約したものである事を了承頂きたい。

● 現在便利に使っている事はありますか？

<回答その1>・・・外で情報をとれる。空き時間で作業ができる。シュミレーションができる。

解説：例えば訪問先などでサービス事業所や有料老人ホーム等の情報がすぐに必要になった時でも、インターネットを活用して調べるとすぐにその場で画像を見て頂くことができ、すぐに回答できます。また、利用者・家族から限度額内でどれだけサービスを利用できるか、経済的な負担はどれくらい掛かるのか（金額はどの程度掛かるか等）等の問いかけにもその場で素早く単位数等の計算が出来るのでとても便利です。

<回答その2>・・・自分の生活スタイルに合わせて日々の仕事の中で足りない事務作業ができる。

解説：毎回事務所に戻ってPCを使って作業しなくても、訪問と訪問の間の空き時間に（で時間を作って）支援経過やサービス担当者会議の記録等の事務仕事ができるので時間を有効利用できる（効率が良い）。

あまり勧められることではないが処理できなかった作業が勤務時間以外の自分の時間で済ませることができる。

<回答その3>・・・電話当番などの際に自分の担当利用者のケースでなくても調整などがしやすくなり、便利だった。

解説：自分の担当以外のケースで、休日にも関わらず（速やかな）調整を必要とする場合や、調べればその場で回答できる内容の電話などの対応がしやすくなり、利用者様やサービス事業所を待たせることなく素早い対応ができ、とっても有効である。

<回答その4>・・・事業所のHPを見せる事ができる。

解説：メディカルネットワークの概要等、利用者、事業所にわかりやすく紹介する事ができ、アピールする事が出来ます。

<回答その5>・・・福祉用具のカタログを活用できる。家屋チェックの時にノートとして使っている。

解説：福祉用具の提案や利用者、家族からの相談がある際に即その場で画像を見ることでイメージし易くなります。また、家屋チェックの時に現場の写真に手書き機能を用いて改修箇所を直接メモする事が出来るので便利です。

<回答その6>・・・使こなせていない。

* パソコン自体の機能や操作については「課題」として捉え、解決策を検討する必要がある。

● 機能として使っていないがやってみたいと思う事

<回答その1> 動画機能を使ってみたい。

解説：福祉用具の提案をする時等、使用例を動画を用いて紹介する事で、よりイメージし易くなります。また、初めて通所サービスを利用する利用者の方にデイサービスの雰囲気動画を動画で紹介する事で安心感をもってもらえます。

<回答その2>・・・ ワンノートを使ってみたい。（複数回答）

解説：手書き機能（ワンノート）を使って支援経過等の入力が出来れば作業効率がとても良くなるのではないかと・・・。

<回答その3>・・・ スケジュールの管理をしたい。

解説：サーフェス自体の機能を利用して自己のスケジュール管理が出来れば良いと思う。

<回答その4>・・・書類の受け渡しをメール添付できたらいい。

<回答その5>・・・ サーフェス自体の機能、使い方を知りたい。

～取材から見てきたもの～

昨年4月から導入された～サーフェス～業務効率化の新機軸として期待された訳であるが、やはり多種多様な結果が見えてきた。今回掲載した回答内容の他にも複数の意見、要望が聞かれたが、あえて「参考」になるのではないかと考えられる内容を主にお伝えしている。当然「今後の検討すべき課題」は様々聞かれたが、厚生委員会のみならず他のシンクタンクの意見も取り入れて検討すべき内容と考えられ慎重に対応する考えである。

タブレット型PCの導入は、今後も起こりうる介護保険制度改正で利用者、事業所にとって不利になっていく中で、これからの生き残りをかけた～差別化～という「戦術」であることに間違いはない。全く新しい取り組みというものには万事が課題無くという訳にはいかないものである。手探りを重ね創り上げていく事で洗練されたシステムになっていくものである。

まさに今その中に入り込んだ時期と思われる。我々はこれからもより良いものにしていく過程と捉える事を続けていかなければならないのである。そして、マネジメントのスキルアップ、ツールを使いこなす技術の向上に日々研鑽していかなければならない事を決して忘れてはならない。

こんスポ

～今号のスリーショット～
<新入社員紹介編>
この度新入社員3名が入社しました。



諏訪事業所所属 平成28年1月16日入社
早いもので、入社して1ヶ月すぎました。皆様にご指導いただき、なんとかケアマネジャーとしてお仕事させていただいています。以前は、病院の相談員をさせていただいてました。趣味は、F-1レース観戦です。少しでも何か恩返しをさせていただきたいと思っております。お気軽にお話ししていただけましたら助かります。今後ともよろしくお願い致します。



北部事業所所属 平成28年2月4日入社
初心に戻ってケアマネ業務を勉強して行きたいと思っています。ご指導を宜しくお願いします。



長与事業所所属 平成28年3月1日入社
ケアマネジャーとしての役割を学んでいきたいと思っております。皆様ご指導の程宜しくお願いします。

～編集後記～

新聞というメディアは今や古いという印象が濃くなりつつある時代と言っても良い。その最中であえて～用紙～という実体媒介の作成を行う事は時代を逆行するような企てではあるが、「手造り」の～味わい～というものを作成していく中で感じました。電子化が進む今の時代だからこそ、その良さを後世に伝え感じてもらうためにもこれからも「手造り」に拘る必要があるのではないのでしょうか。

編集長・宮山